



桃五だより



No.598

(4月号)

2021.4.6

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

満開の桜のように

校長 川田 忠

春休み、校長室からは満開に咲き誇っている校庭の桜を眺めることができました。薄桃色の花々は、心を和ませてくれると同時に、新年度へのエネルギーを与えてくれました。令和3年度のスタートです。

今年度は、新1年生105名を迎え、全校669名、21学級で子供たちへの教育活動を進めてまいります。新たに7名の教職員を迎え入れ、新しい風を生かしチーム桃五として実践を重ねていきます。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症を学校から拡大させないことは、今年度も大きな課題です。マスクの常時着用や3密を避けソーシャルディスタンスを保った生活を、引き続き行っていくことになります。

学校は、コロナ前の状況と同じ日常に戻ることはありません。というよりも、元と同じになることをめざすのではなく、コロナ禍の中で子供たちにとって意義ある新たな教育を創り上げていきたいと考えています。

例えば、運動会などの大きな行事については、全校が一堂に会しての実施はまだ難しい状況です。学年ごとの発表を軸に計画していくことになります。しかし、その中で新たな工夫を取り入れた種目や、今までとは違う発表の形が検討されていきます。

学習では、高学年の専科教科を変更し、英語を行っていきます。英語専科は、これからの時代を見据えてのものです。対話的活動を大切にした学習活動を実践してきた本校にとって、これも一つの新たな学びとなっていき、子供たちの学力向上の切り口になると思っています。

桃五小全体として、「自立と共生」の教育を進めていくことには変わりありません。子供自身が考え、判断し、行動できるようにしていくこと。一人だけでなくみんなとも一緒に活動し、生きていけるようにすること。自立と共生を両輪にして、すべての教育活動を通してこの理念を追求していきたいと思います。

その中で、一人一人の子供たちに応じる教育を、常に意識していかなければならないと考えています。それぞれに違いのある子供たちを様々な角度から眺め、その子を理解した上でよさを認め、伸ばしていく。その子の持ち味を発揮できる学校でありたいと考えます。

今年度も、全学年のクラス替えを行いました。進級し、新しい学級、新しい友達や担任との出会いがあります。せっかくこれほど大きな学校に6年間在籍しているのですから、たくさんの友達と知り合い、いろいろな関わりを広げ、深めてもらいたいと思っています。世界を相手にする子供たちにとって、人との豊かな関わりを学んでいく小学校時代を実現させていきます。

さて、669名の子供たちにとって、どんな一年になるのでしょうか。楽しみで仕方ありません。子供たちにとって、桃五小での毎日が満足感、充実感をたっぷり味わう時間になってもらいたい。そして来年の春、コロナ禍の中で展開した教育の成果として、すべての子供たちが満開の桜のように咲き誇る姿をお見せしたい。いい一年にしたいと思います。今年度も、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

4月の生活指導目標

もも五の子どものやくそくを守ろう

新学期が始まりました。桃五小のみんなが安全、安心で楽しい学校生活を送れるように、大切なやくそく『桃五の子ども』を確認しましょう。そして、みんなの力で、よりよい桃五小にしていきたいと思います。